

KSKQ どうか No.299

ぽぽんがぽん news



えがお 笑顔あふれ つながりあえる社会へ
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～

猫日記 〈鎮山伸吾さん〉

2024年5月21日 火曜日 今日の猫の数14匹です。まずは散歩コースに行く何人かの人が、“うす茶”がいたので見ていたのですが、1人残っていた所“うす茶”がぼくに近づいて、すりすりをはじめた。なれているから、甘えているという意味です。遠くの方に“ミケ”がいて“ミーチャン”の兄妹がいましたが、草花の所“クロ”がいたのでまずは4匹。“うす茶”多分“クロ”と時々けんかをしているので、“クロ”によくネコパンチをくらっているの、顔や体が傷だらけです。昨日はそんなことなかったけど、昨日のうちにやられたのかもしれない。とりあえずは、“うす茶”を見守りました。後から“兄妹”も見ましたが、遠く“うす茶”がいるので、“ミケ”が気にしていた。“クロ”もいたので、気にした。おっちゃん来るまで甘えていたので、エサをたべていた。“兄妹”もエサを食べていた。食べたりないのか催促して、また食べていた。朝は食べていないから、夜しかないので存分食べていた。“うす茶”と“クロ”はエサを食べ残し帰った。“兄妹”をほうちて神社の裏にも猫がいる、3匹くらい。白黒3兄妹、夜は猫だらけです。公衆トイレのある所も2匹の猫“クロ”+“キジトラ”、猫にきょうみがあるのか知らないけど、女性の方と猫の相関図的な事を話しました。自宅のある方向へ向うと、家の前に2匹の猫と駐輪場に2匹の猫なので、2+2+3+1+2+1+3=14匹です。

2024年5月22日 水曜日 今日は18:00すぎ出ました。いつも行くコースへ行って猫達がいる場所へ行って“兄妹”がいましたが、“ミーチャン”だけまず猫ヤシキの場所へ行きました。その間に“うす茶”が遅れてから来ましたので、“兄妹”がそろりまでの間に“うす茶”の面倒を見ました。“兄妹”がそろったので、別の人に見てもらっていました。“うす茶”がいたので“うす茶”にもあげましたが、余り食べていなかったの、残して帰った、“兄妹”もエサを残して帰りました。“白黒”もいたので、エサを食べていた。トイレの近くに黒猫がいて、そのうちに“キジトラ”もいました。後はいつも行くコースに帰りながら、3匹の猫と駐輪場に白黒の猫がいたので、2+3+1+1+2+1=10匹です。

2024年5月26日 日曜日 今日はいつものコースへ行って、散歩コースにつくと“うす茶”がいました。30分くらい“うす茶”の面倒を見ました。“うす茶”はずっと甘えていました。

ちょっとしてから“ミーチャン”がいました。はなれに“クロ”もいました。“クロ”はエサを食べずに寝てました。“ミーチャン”は“ミケ”がこない事で泣き叫んでいました。昨日も“うす茶”がいたので、ひんぱんに出てくるのが増えましたので、“うす茶”の面倒をよく見るようになりました。“うす茶”はエサを食べるだけ食べて寝床に帰りました(飼い主さんの所)。散歩コースには4匹いました。昨日と今日で“兄妹”がエサを食べたら寝床に帰るはずなのに、2日連続、ベンチに“兄妹”がいるので、夜遅くなってから、帰っているそうです。トンネルをぬけたら、白黒猫がいました。公園の奥にある森の所にいる猫はいなかった。帰る方向はいつものコースに行つて、空地の所にある場所にはたまに猫がいます。多くて4匹です。親1+兄妹3=4 <つづく>

内容

- 猫日記
- くろす スタッフ/事業紹介
- きょうのNANIKA
- 芳村さんヘインタビュー
- ろくちゃんまちをゆく
- 後援会より/寄付金等のお礼
- 編集後記

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行



子ども若者自立支援部門

事業紹介／スタッフ紹介

今回はユースプラザCENTERエントの事業紹介とスタッフの山本麻代さんを紹介します。

エントでは「五感で体感する」をキーワードに、スタッフと利用者が

一丸となって様々な事に取り組んでいます。今はローズWAMという施設を中心に居場所の事業を展開していて、食育セミナーや社会経験セミナー、興味関心セミナー、スポーツ活動などの様々なプログラムを実施しています。

エントには10代、20代、30代と、様々な年代の利用者が来て、自分のペースでゆっくり過ごしたり、同じ趣味を楽しんだり、誰かとおしゃべりしたり、興味のあるイベントに参加したりしながら、思い思いに過ごします。

私たちは、一人で過ごす時間も誰かと一緒に過ごす時間も、どちらも大切にします。一人でリラックスしたい時もある。誰かと一緒にゆっくりとした時間を過ごしたい時もある。一人で何かに夢中になりたい時もある。誰かと共に熱狂したい時もある。初めてのことに一人向き合う時もある。誰かと一緒になら挑戦できたり、楽しめたりすることもある。

昨日は昨日、今日は今日、明日は明日。一日一日の時間を積み重ねながら、エントは、その日その日を自分らしく過ごせる、自分のペースで成長していける場を目指しています。

そんなエントで働いている山本さんはこれまで福祉施設や若者支援の仕事で働いてきた経験を持っていて、今はエントで子ども・若者支援に携わっています。

山本さんはエントに来る利用者の皆さんよりも少しお姉さんの立場として、一緒にプログラムに参加したり、勉強を教えたり、一人ひとりの成長を暖かく見守っています。そんな山本さんが人生で一番大事にしている時間が「茶摘み」の時間です。

夏にはまだ少し早い早朝の京都の茶畑で、芽吹いてきた新芽をぷちぷち摘みながら風を感じている時間は、山本さんにとってかけがえのない時間だそうで、お茶摘みの時期がやってくるのを毎年楽しみにしています。

ちなみに山本さんは昨年からは精神保健福祉士という国家資格の勉強をしていて、オン・オフともに忙しい日々を過ごしていて、「今年は茶摘みに行けないかも」と考えたりもしたとか。そんな中、なんとかスケジュールに都合を付けて、今年も茶摘みに行くことが出来たそうです。

自分が大事にしている時間を大事にすること、そうすることで忙しい中でも自分が幸せになれるということを山本さんは知っているのですね。

この記事を読まれた皆さんが自分にとっての大事な時間を、本当に大事にすることが出来ますように。(竹中辰也)



きょうのNANIKA 015



せいがかつかいごじぎょうしよ
生活介護事業所ぼかぼか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
わたしたちしえん
私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。
なまえ
名前をつけたり説明してしまう前に、まず色んな人に見てほしい、
いっしょ
そして一緒に考えられたら良いなと思います。



ものかたる 物で語る

まいにち みぞくいじんじゃ
どかどかで毎日、溝柞神社へラジオ体操をしに行っていた頃、行き帰りの道に落ちているキラッと光る何かを、しのぶさんと
いっしょ ひろって
一緒によく拾っていました。ビンの王冠、パチンコ玉、ちょっと変わった金属の部品…こっそり引き出しに秘密ボックスを作り、
いっしょ あつめて
そうした「モノ」を一緒に集めていたのが良い思い出です(ほんとは、しのぶさんは僕に合わせてくれていただけかもしれませんが)。
しんぶさんはとうじ
しのぶさんは当時よく「かみすき」をしていました。でも、ぼかぼかでは場所の違いもあってか「かみすき」はされなくなっていました。

すうねんたち
数年経ち、やっぱりぼかぼかでも「かみすき」をしたい、ちょっと面白い紙を自由に作る形でやってみたいと思って、しのぶさんが
きょうみ もって
興味を持ってくれたらいいなと、しのぶさんから見えるところで試作をしました。そして、僕のバレバレのしたごころのって
さんが製作を担うようになり、いまやしのぶさんカラーの炸裂したすごい紙が生まれ続けています。

けいと
毛糸、えんぴつの削りカス、袋の切れ端、葉っぱ…「これ、使える」と気づけるしのぶさんの発想。これはあの頃、道で落ちているモノ
いっしょ ひろって
と一緒に拾っていたことと、つながっているのかもしれない？

ふりかえって
振り返ってみると、しのぶさんとはそんな「モノ」を通した関わり合いをずっとしてきているような感じがします。

(題字：林裕之さん 文：山根康純)



グループホームさくらに入居している芳村博司さんが長年お勤めしたセイビ大阪を退職されました。そこで、退職後の気持ちや思い出話などをグループホームさくらコーディネーター田口さんによる芳村さんへのインタビューを6月に行いました。

Q:何歳から何歳まで働いていましたか?

芳村さん:12年ぐらい働いていた。60歳ぐらいから。セイビ大阪の前はぼかぼか。野村孝治さんに市役所で会ってぼかぼかに連れてきてもらった。



Q:どんなお仕事をされていましたか?

芳村さん:クリエイティブセンターの2階の廊下と下の廊下の拭き掃除。モップ、布みたいな紙みたいなモップ(フロアシート)で、さくらにあるのと同じので大きいやつ。

隅から隅まで。時間が余ったら駐輪場の葉っぱを取る。掃き掃除をしたり。池の掃除をする。冬の寒い時に石を洗う。水を抜いたり。冷たい!震えた。ゴム手袋はめてやったけどあかぎれができた。雑巾で椅子を拭く。長椅子。お客さんが座る椅子。ぎっくり腰(軽い)をやって休んだことがある。先生に言ったら「骨が外れてる」と。今は治った。他の若い人に任せなさいと言われた。



Q:お仕事をされていてうれしかったことは何ですか?

芳村さん:暑い時、休憩したこと。主任さん(クリエイティブセンターの責任者)が、休憩中に「倒れんぞ」と。休憩中にジュースをおごってもらった。うれしかったあ!

田口:クリエイティブセンターの責任者の山中さんにジュースをおごってもらったこと。休憩中に話をしたり休憩したりするときがうれしかったね。

芳村さん:休憩しながらおしゃべりが楽しかった!

Q:お仕事をされていて大変だった事はありますか?

芳村さん:ないな。

田口:朝早く大変とかは?

芳村さん:朝は大変。

田口:仕事は大変?

芳村さん:仕事は同じことだから慣れた。昔は11:30までだったのが9:30までになった。4階はクーラーが入っていない。掃除をしていて暑い!1~3階はクーラーが入っている。暑くて嫌やな。汗をかく。休憩したり、4階は暑い!4階はクーラーが入らん。5階が屋上だから暑い。



Q:何人くらいと仕事をしていましたか?

芳村さん:10人くらいと仕事をしていた。1人は夜8時までの人。同じ仕事している人は8人、守衛さん警備員さんもいる。着替えとかあるところも掃除する。

モップが汚れたら変えないといけない。モップで掃除をする。トイレ掃除をする。手を洗うところを洗う。便器を掃除する。



かたく しぼる すべる しぼって すべって すべらない しぼる まいにち おわる
固くモップを絞る、滑るから。モップを絞って、滑ってケガをするから滑らないように絞る。毎日やる。(終わるころには)もう
8時になっている。トイレの中の拭き掃除。早めに行かないといけない

Q:お仕事をしてきた中で自慢できることは何ですか？

よしむら 芳村さん:ないな。

たぐち 田口:なんもない?がんばったこととか。10年間頑張って勤めて、

ホテルで表彰してもらって、おいしいもの食べて、あったね。

よしむら 芳村さん:10年間勤めた賞状を貰った。うれしかった。社長さんと

役員さんとで、写真を撮った。おいしいの食べたし。なんだったか

な...? ワインをちょっとくらい飲んだ。隣の女性と、15年か20年

働いた人と仲良くしゃべった。

賞状も、もらったしテレビも映った。他の人が、顔が映っていないけ

どお祝いしてもらっているところがテレビに映っていたよ。と言っていた。



Q:「こんなことができるようになった」ことは何ですか？

よしむら 芳村さん:掃除をするのが得意になった。毎週、週末に掃除をして

る。お風呂掃除は休みの時やっている。平日は世話人さんがしてく

れている。トイレ掃除は前は毎日している。世話人さんが料理も

掃除もしてくれている。休みのときはやる。

Q:芳村さんにとって「仕事」とはなんですか？

よしむら 芳村さん:生きがいやな。仕事があったら80歳まで働きたい。いろいろ買い物いけるしな。テーブルとか、部屋干し用の

洗濯干しが欲しい。梅雨、雨があるから欲しいな。

Q:仕事は長く務めることと、短く勤める事のどちらがいいですか？

よしむら 芳村さん:長いところで働くのがいい。知らんとこだったら、最初から覚えるの大変。

Q:退職してから、やってみたいと思っていたことは何ですか？

よしむら 芳村さん:わからんな。お出かけして楽しく過ごしたい。ヘルパーさんと京セラ美術館、野球、神戸に一泊旅行、ランチ

ルーズを予定している。ハーバーランド、カワサキワールドで、バイクや新幹線の記念館、オートバイやチンチン電車も。

昔の3つの羽の扇風機があった。回ったり止まったり。昔の人が使っていたと言っていた。オートバイにまたがって、スク

リーンで合成写真が撮れる。山の景色が映る。

韓国ドラマの女優さんでは、トンイが好き。田口くんくらいの背がある。スマホの待ち受けにしている。

よしむら 芳村さん、12年間お疲れ様でした。毎日早起きして頑張って準備していたところ、冬でも
水仕事を頑張っていたところ、12年の間で大きな病気をすることもありますが、治ってから
も仕事を続けていたところなど、すごいなあと尊敬します。同僚の方々と仲良くお仕事やお話
をされているところを何度も見かけました。良い職場に恵まれていたようで良かったです。
これからは時間に余裕ができたので、楽しいことをたくさんしてゆっくり過ごしてくださいね!
(田口聖明)



ろくちゃんまちをゆく NO.105



こんにちは。暑い日が続きますがお元氣ですか？暑くて家でクーラーを入れると身体が冷え逆に体調が崩しそうで、年々、クーラーの調整が難しくなりつつありますが、おいしい食べ物やビールを飲み、この夏を乗り越えて、楽しんでいきたいと思ひます。



今回は、阪急バスの接客研修について記事にします。毎年、阪急バス 茨木営業所で、障害の理解についての研修を実施しています。(おそらく、10年以上かな・・・)

研修が必要と思ひたことは、運転手さんが障害当事者の方と関わったことがなく、乗車時や降車時の対応の仕方がわからずに対応し困ってしまうこと。また、運転手さんがわからないから顔の表情や態度に出てしまうこと。また、

運転席から車椅子の方を見過ごしてしまう恐れがあり、実施することになりました。

研修では、実際のバスを使用させてもらひ、視覚障害の方、言語障害の方、電動車椅子の方々に、乗車時や降車時の対応の仕方を説明してもらひ。また、運転手さんからわからない事など質問してもらひています。時間が忘れるくらい、運転手さんと話す事も中にはあります。研修を長年やってきたことで、茨木の営業所長さんの話によると、通勤ラッシュ時に車椅子の方の利用が阪急茨木市駅であり、営業所長さんが、対応されているようで、やってきて良かったと思ひます。



話は変わりますが、日本の法律では障害者差別解消法があり、例えば、車椅子の方がバスを利用することを運転手さんが説明をせずに断ることは差別になり、また、乗車時や降車時の対応が必要で過度の負担ではないにもかかわらず、運転手の方が対応しないことは合理的配慮の不提供になります。合理的配慮の提供は、2024年4月から民間事業者も義務となり、バスの利用時に、困っている



ところがあれば、対応することが必要となつてきます。しかし、運転手さんの方が当事者の方と関わったことがなければ、対応の仕方がわからず理解不足となり、事前に関わっていれば、対応方法も考えられます。この取り組みは、関西では少なく、近畿運輸局のバリアフリー推進課の方も視察にきてもらひ、他の事業者や営業所でも広がっていき、誰もが利用しやすいバスになるように今後も取り組んでいきます。(六條友聡)



しゃかいふくしほうじん こうえんかい
社会福祉法人ぽぽんがぼん後援会

かい

「つなかりの会 ぽぽんがぼん」

れんじつ もうしよ つづく がつ にち そうかい
 連日の猛暑が続く7月21日、ハートフルで総会を
 かいさい かんせんぼうし すうねん
 開催しました。コロナ感染防止により、ここ数年リモ
 へいよう こんかい かいじょう めい かた
 ト併用でしたが、今回は会場のみ。15名の方に

ご参加いただき、久しぶりに対面での開催に、やはり直接お顔を見て話せることの嬉しさを実感しました。昨年度
 の活動の中では卓球の交流会が数年ぶりに開催され、皆で楽しんだことや、「成年後見制度」についての学習会
 に多くの方の参加を頂き、関心の強さを実感したことなどが報告されました。今年度も皆さんと
 おおく こうりゆう もてる ように かつどう おもいます
 多くの交流が持てるように活動していきたいと思

二部では、ぽぽんがぼん事業報告、活動予定の説明がありました。会場から、それぞれが
 かんじて こと じぎょうしょ こんご いけんこうかん さいきん さまざま ふくしかんれん ふあんじょうほう しみ
 感じている事、事業所の今後などについて意見交換を。最近、様々な福祉関連の不安情報を耳
 にします。ぽぽんがぼんが安心して事業運営できるように、後援会としても協力を…と思います。
 (村上和子)



*** 今後の予定 ***

10月20日(日) 交流会「卓球」
 ハートフル 14:00~16:00



11月28日(木)

学習会「成年後見制度について」パートII
 (茨木しよう会との共催)
 ハートフル 13:30~15:30

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

2024年2月20日~2024年7月19日まで(順不同)

郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。



社会福祉法人ぽぽんがぼんへご寄付ありがとうございました
 長島様 新井様 水野様 内藤様 久保様 大槻様 浅野様
 小野寺様 グループ「みどり」様 匿名の皆様

つなかりの会ぽぽんがぼん(後援会)へのご寄付ありがとうございました

鍋谷様 川本様 田川様 内橋様 村上様 赤嶺様 匿名の皆様

【募金箱】 埴淵様 坂本様 ファミリーマート舟木町店様 ファミリーマート並木町店様
 ファミリーマート天王店様 ファミリーマート別院町店様 餃子の王将阪急茨木駅前店様
 ㈹ートエオンwithYOU様 そぶえ歯科様 巡りごはんいろは様



アルミ缶・牛乳パックのご提供ありがとうございました

【アルミ缶】 舟橋様 浅野様 古川様 埴淵様 ハシオダニ様 藤本様 竹内様
 林様 洗様 大東様 GHピース様 作業所等へ持って来てくださった皆様
 【牛乳パック】 萬谷様 洗様 ハシオダニ様 GHピース様 GH多歌多架様
 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様 作業所等へ持って来て下さった皆様

ご寄付をご希望いただける方は
 こちらまでお願いします
 <払込取扱票をご利用される場合>
 口座記号番号：00930-0-212299
 口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぼん

<口座振込をご利用される場合>
 銀行名：ゆうちょ銀行
 金融機関コード：9900 店番：099
 店名：〇九九(せとかうり)
 預金種目：当座
 口座番号：0212299
 口座名称

(漢字)：社会福祉法人ぽぽんがぼん
 (カナ)：フク)ポポンガポン



へんしゅうこうき
編集後記

しよちゅうおみまいもうしあげます
暑中お見舞い申し上げます。

こんごう ひょうし しずやましんご おねがい ねこにつき ていきょう
今号の表紙は鎮山紳吾さんをお願いしたところ「猫日記」を提供してくれた。

これはフィクションなのかノンフィクションなのか、いずれにしても名作?だ。

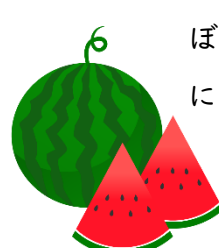
そして、連載を依頼したのではないのだが、まだつづきがあるようだ。

ひごる じょうだんばなし いんしやう しずやま かるいちやうし はなされるしずやま じんせい かるがる
日頃は冗談話をしている印象の鎮山さんだが、ときどき軽い調子で話される鎮山さんの人生は軽々に
かたれないほど重い。鎮山さんとぼくの付き合いは長い、彼がこれまでどう生きてきたのかしっかりと
ききとりみんな つたえなければ おもうきょうごる
聞き取り皆に伝えなければと思う今日この頃である。

こんごう よしむらひろし
また今号では芳村博司さん(P4~P5)にもインタビューをさせていただいた。

よしむら わかし たいびやう ほんとし やすんで なんにん げんきづける
芳村さんは、昔ぼくが大病をして半年ほど休んでいたときに、何人かのメンバーがぼくを元気づけるために
りゅうおうさん さそって のぼった ひとり よしむら おぼえて
竜王山に誘ってくれていっしょに登ったなかの一人である。芳村さんは覚えていないかもしれないが、ぼくは
いま かんしゃ
今でも感謝している。

6
ぼくを含め一人一人に語るべき人生があるが、差別のなかに置かれてきた障がいのある人
にとってのそれはより重い。あらためてしっかりと聞かせてもらい、伝えていきたいと思う。
おたごろう
(太田吾郎)



一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203 <https://popongapon.com/>
- 法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
- グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
- ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
- 相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぼかぼか」(8:30~17:30)
〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」(8:30~17:30)
〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズWAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624



編集人:「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」(社会福祉法人ぽぽんがぽん)
TEL(072)623-9202(お問い合わせはこちらまで)
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F
発行人:関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円

UD FONT
み
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。